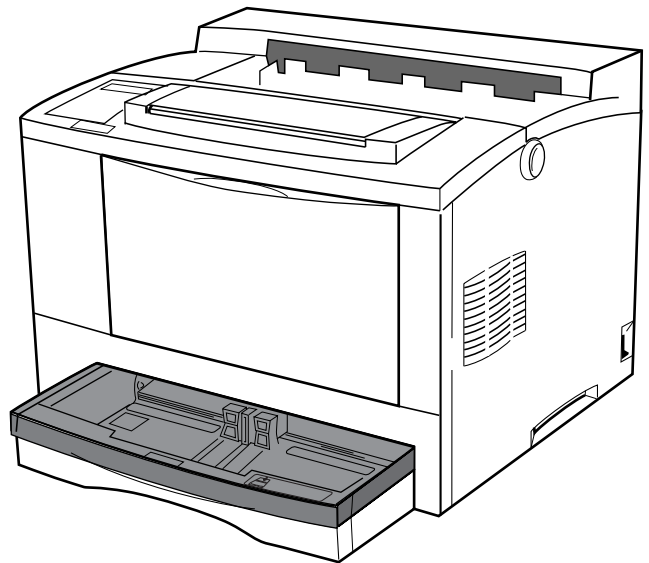


設置 編



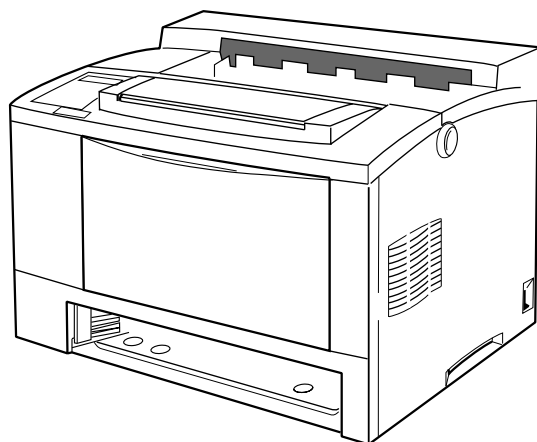
箱を開けて確認します

プリンターの箱を開けると、次のものが入っています。箱を開けて、すべてのものが揃っているかどうか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店までご連絡ください。

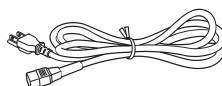
MEMO

箱や梱包材は、プリンターを移動したり、輸送したりする際に必要です。大切に保管しておいてください。

プリンター本体



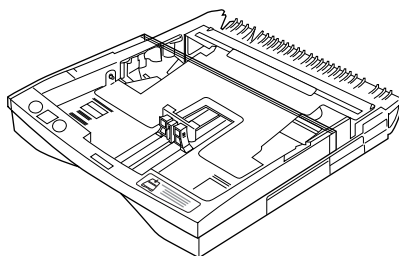
電源コード



給紙カセット

用紙をカセット給紙するときに使用します。

A 5 サイズから A 3 サイズまでの用紙を給紙することが可能なユニバーサル・タイプです。

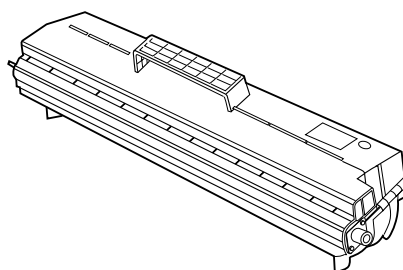


EPカートリッジ

印刷用トナーが入っている専用カートリッジです。消耗品ですので、トナーがなくなったら新しいもの（別売）と交換してください。EPカートリッジの交換方法や、購入については以下を参照してください。

「EPカートリッジを交換する」 P.82

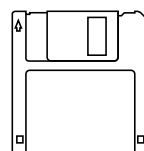
「サプライ品・オプション製品の紹介」 P.168



ユーティリティー・ディスク（1枚）

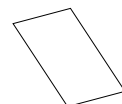
プリンター・ドライバーが入っています。使用方法は、「ドライバー導入編」で説明します。

「ドライバー導入編」 P.27

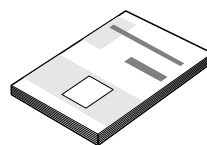


保証書

内容をお読みにになり、必要事項がすべて記入されていることを確認のうえ、保管しておいてください。

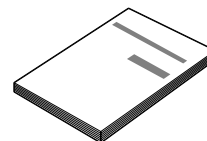


設置・操作ガイド（本書）



保守マニュアル

保守サービス員が点検・修理の際に参照するマニュアルです。いつでも取り出せる場所に保管して下さい。



この他に必要なもの

プリンター・ケーブル

プリンターとシステム・ユニットを接続するケーブルです。ご使用になるシステム・ユニットに適したものをお使いください。使用できるケーブルについては「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」、またはご使用になるシステム・ユニットの説明書を参照してください。

「サプライ品・オプション製品の紹介」 P.168

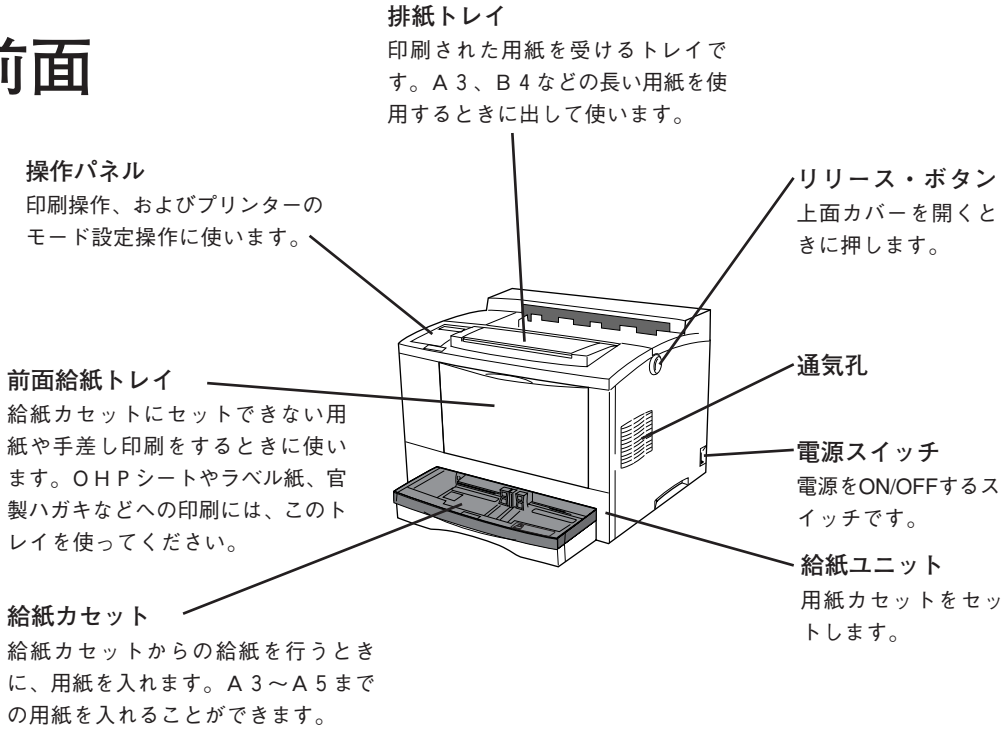
用紙

使用できる用紙については、「付録A 用紙について」で説明しています。参照して、本プリンターに適したものをお使いください。

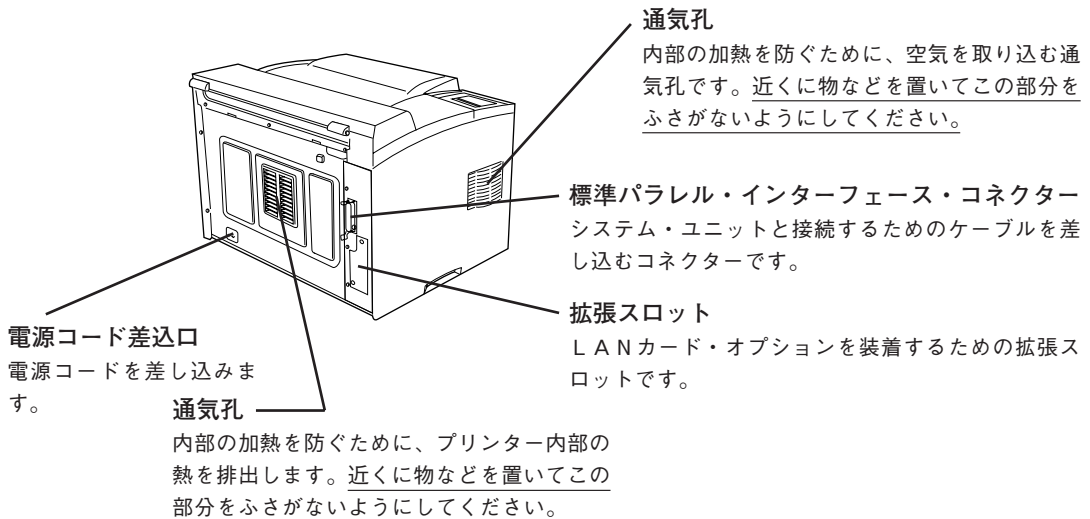
「用紙について」 P.162

各部の名称と働き

本体 前面



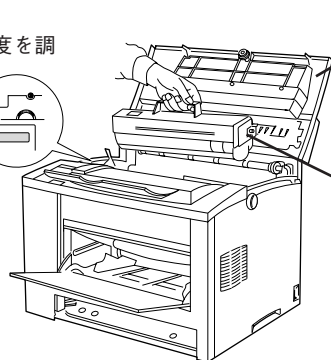
背面



内部

印字濃度調整ダイヤル

ダイヤルを回すと、印字濃度を調整することができます。



上面カバー

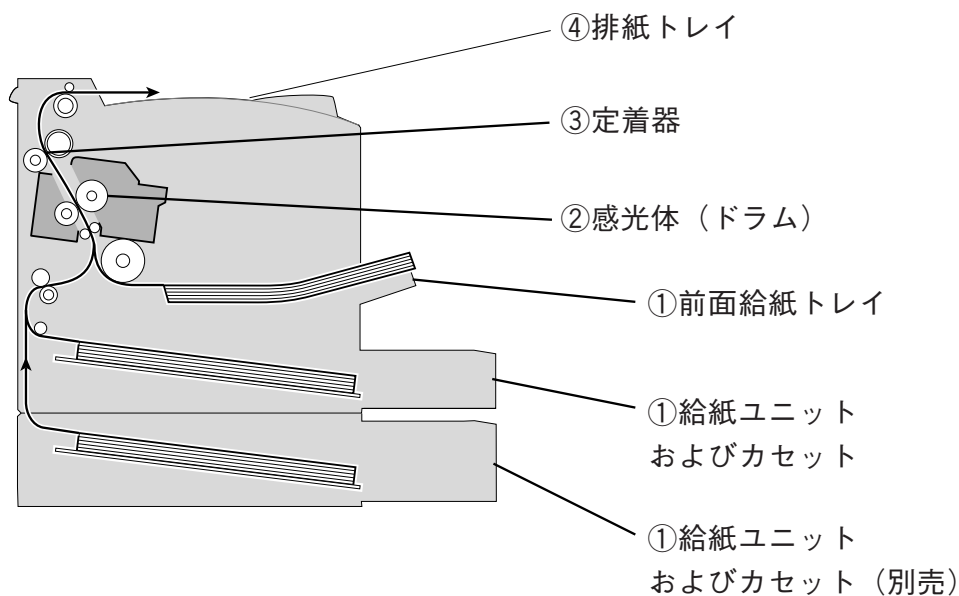
EPカートリッジの交換や、詰まった用紙を取り除くときに開けます。印刷中は開けないでください。

EPカートリッジ

トナーと感光ドラムが一体化されたカートリッジです。

用紙の流れ

プリンター内部の用紙の流れは次のようになります。



- 1 手差しトレイまたは用紙カセットから、用紙が引き出されます。
- 2 感光体（ドラム）の横で画像が用紙に転写されます。
- 3 用紙上のトナー像が定着器によって定着されます。
- 4 排紙トレイへ用紙が排出されます。

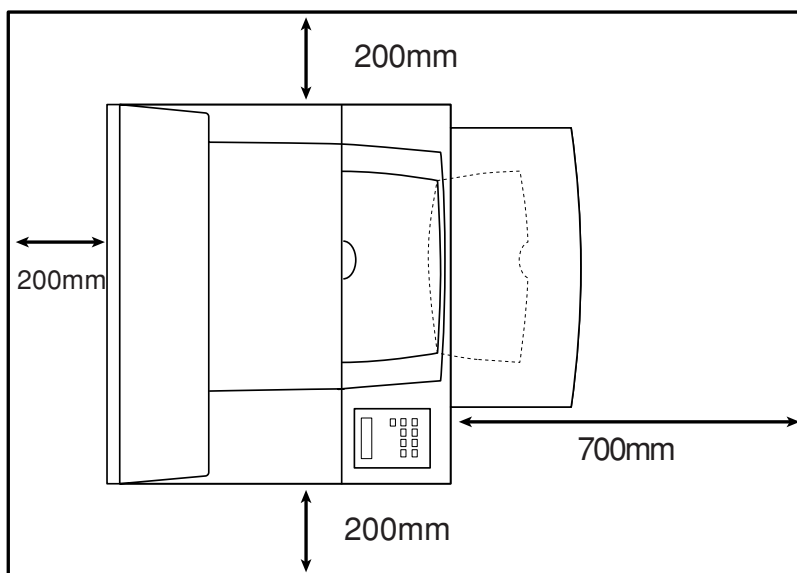
設置についてのご注意

プリンターを設置する場所や条件について、次のことにご注意ください。

設置する場所

設置スペース

プリンターの側面および背面には通気孔があります。プリンターは壁から200mm以上離して設置してください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、異常発熱の原因となることがあります。また、プリンターの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンターを正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



設置する台

⚠ 注意 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

設置する台は、プリンターが十分にのる大きさで、プリンターの重量（オプションや用紙をセットした状態）に十分耐えられる、水平で安定した台を選んでください。台の高さは、自由ですが、操作がしやすく、操作パネルの表示などがよく見える高さにしてください。

設置場所の条件

良好な印字品質を保つために、設置場所は次のような条件に適したところをお選びください。

温度 5 ~ 35 ° C

湿度 15 ~ 85 % (結露がないこと)

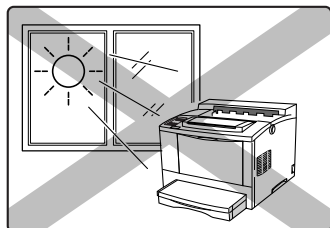
温度が 32 ° C のときは湿度 70 % 以下、湿度が 85 % のときは 28 ° C 以下でお使いください。

MEMO

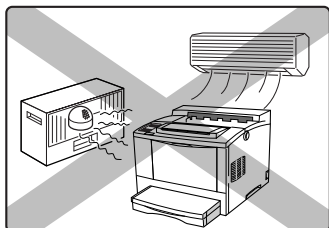
- ・ 冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めると、プリンターの内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。
- ・ 地震の時の移動防止、転倒防止対策については、お買い求めの販売店にご相談ください。

設置してはいけないところ

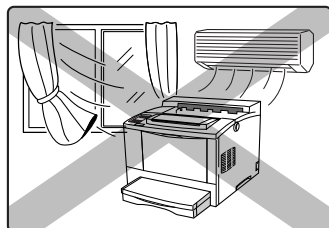
次にあげるような場所には設置しないでください。故障や発火の原因となることがあります。



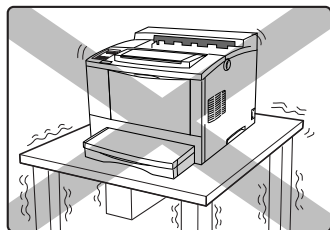
直射日光の当たる場所



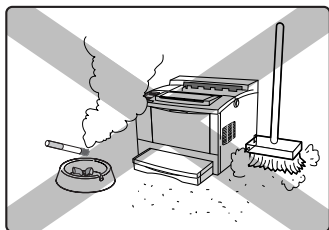
冷暖房器具に近い場所



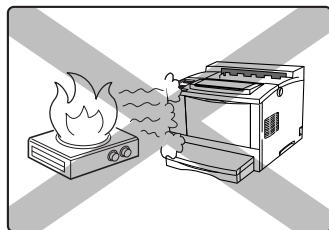
風が直接当たる場所



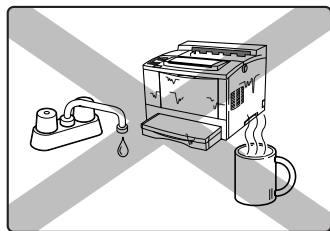
振動のある場所



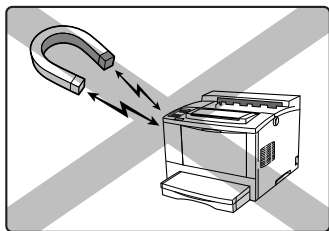
ホコリやチリの多い場所



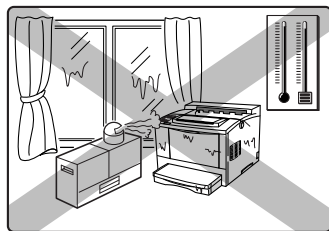
火気に近い場所



水気のある場所



磁力の影響を受ける場所



温度／湿度の変化が激しい場所



- 本体背面の通気孔をふさがないようにしてください。
- 湿度、温度の低い場所から高い場所へ移動したときや、室内温度が急激に変化したときなどはプリンターの内部に結露を生じることがあります。このような場合は、移動後1時間以上放置してから、ご使用ください。

移動するときの注意

プリンターの重さはカセット、消耗品、オプションや用紙が入っていない状態で約18.5kgです。

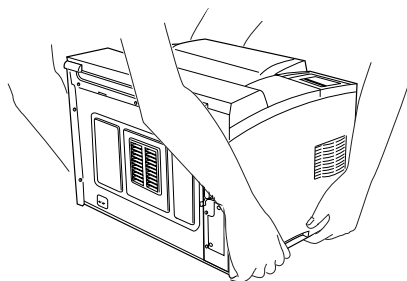
詳しくは「プリンターを移動するときには」P.158 を参照してください。



オプションの給紙ユニットを装着した状態で移動することは避けてください。

⚠ 注意

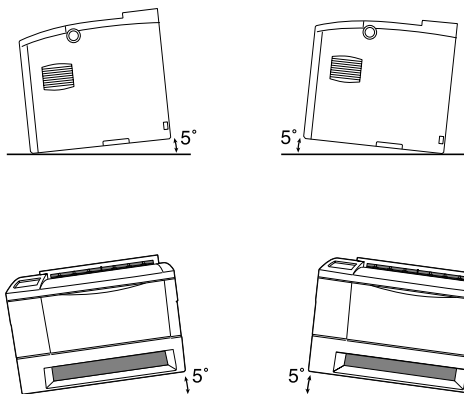
プリンターを持ち上げるときは、プリンター正面（操作パネル側）および背面を身体の方に向け、プリンターの左右両側に両手をしっかりとかけ、必ず2人で持ち上げてください。それ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるけがの原因となることがあります。



プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

プリンターを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

プリンターを移動する場合は、プリンターを5°以上に傾けないでください。転倒などによるけがの原因となることがあります。



プリンターを設置します

プリンターの設置は次の手順で行います。どんな場合にも必ず必要な手順です。順番に作業を進めてください。

設置手順の流れ

EPカートリッジを取り付ける



給紙カセットに用紙をセットする



電源コードを接続し、電源を入れる



テスト印刷をして、電源を切る



プリンターとシステム・ユニットを接続する

EPカートリッジを取り付ける

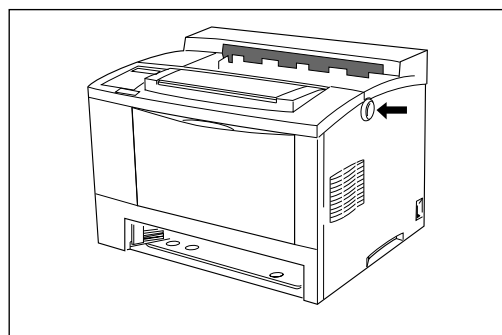
EPカートリッジ取り扱い上の注意

- ・EPカートリッジは、プリンターにセットするまで、袋から取り出さないでください。
- ・袋から取り出したら、できるだけ早く（5分以内）プリンターにセットしてください。
- ・直射日光などの強い光（1500ルクス以上）には絶対に当てないでください。
- ・EPカートリッジの取り付け作業は、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
- ・ドラム・シャッターにより、EPカートリッジ内の感光体（ドラム）が保護されていますが、感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・EPカートリッジは立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・カートリッジは、両脇または取っ手を持つようにし、それ以外のところは触れないようにしてください。
- ・EPカートリッジは、IBM純正品をご使用ください。純正品以外では、良好な印刷が行えないばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。純正品以外のカートリッジでの障害に関しましては、保証の対象外となりますので使用しないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

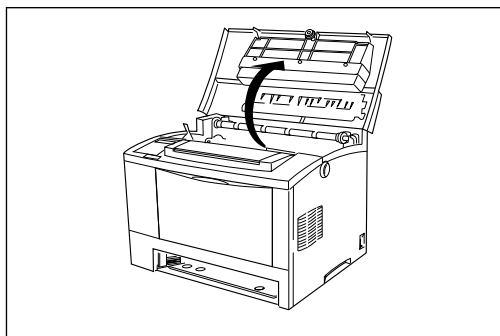
次の手順でEPカートリッジを取り付けます。

操作の手順

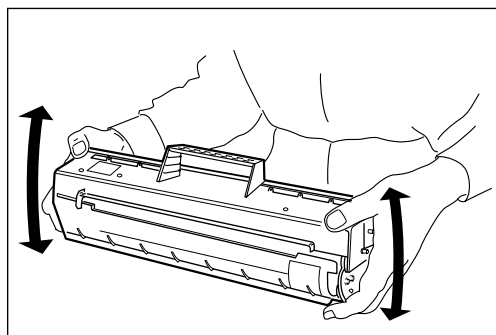
- 1 上面カバーのリリース・ボタンを押して、上面カバーのロックを解除します。



2 上面カバーをゆっくりと上後方に開きます。

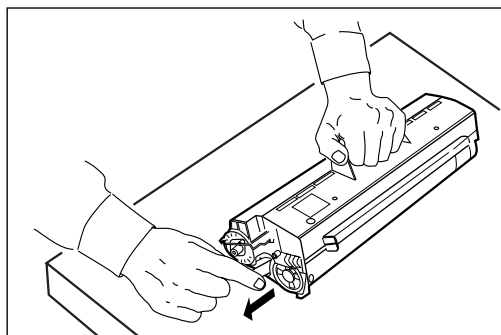


3 EPカートリッジを梱包から取り出し、ドラム・シャッターの間に入っている保護用の紙を取り除き、図のように左右をゆっくりと交互に上下させながら7～8回振ります。



トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。また、よく振らないとプリンターの起動時に異常音やEPカートリッジ内部の破損が生じることがあります。

4 EPカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらもう一方の手でトナー・シールを引き抜きます。



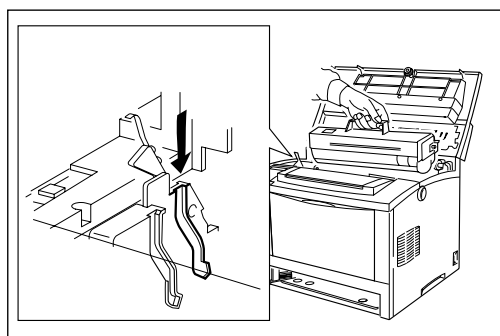
トナー・シールを引き抜くときは、平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中でテープが切れてしまうことがあります。トナー・シールを引き抜いたあとは、EPカートリッジを振ったり、衝撃を与えないでください。

5 EPカートリッジをプリンターに挿入します。

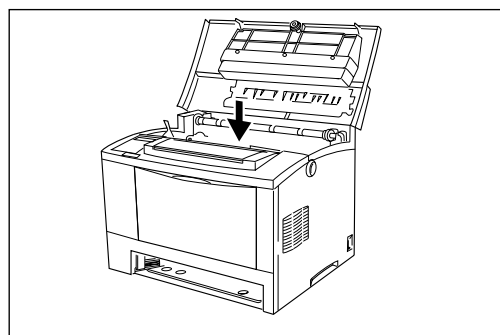
EPカートリッジを図のように持ち、EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部のガイドに合わせてプリンター内部に挿入します。



プリンター内部の部品には、手を触れないでください。



6 EPカートリッジをしっかりと奥まで押し込みます。

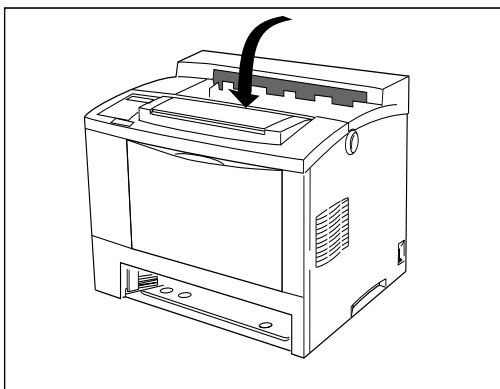


7 上面カバーを閉じます。

上面カバー中央を押して確実にロックして閉じます。



上面カバーが確実にロックされていることを確認して下さい。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上面カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出してから、もう一度奥まで挿入し、閉め直して下さい。



給紙カセットに用紙をセットする

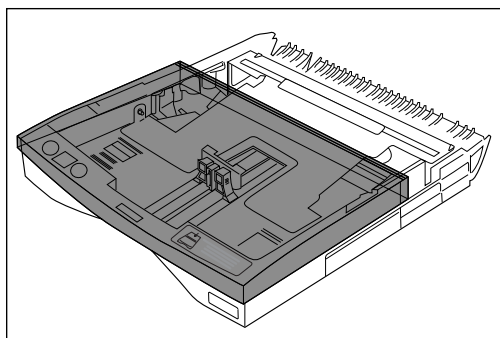
給紙カセットに用紙をセットし、プリンターに取り付けます。

MEMO

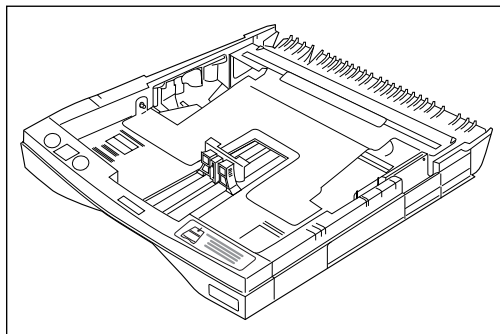
テスト印刷のためには、付属している給紙カセットを使用し、A 4 サイズの用紙をセットしてください。使用する用紙については、「付録 A 用紙について」を参照してください。

操作の手順

- 1 給紙カセットを平らな場所に置きます。
給紙カセットがプリンターにセットされている場合は、給紙カセットを手前に一度止まるまで引き出し、次に軽く持ち上げながらプリンターから抜きます。

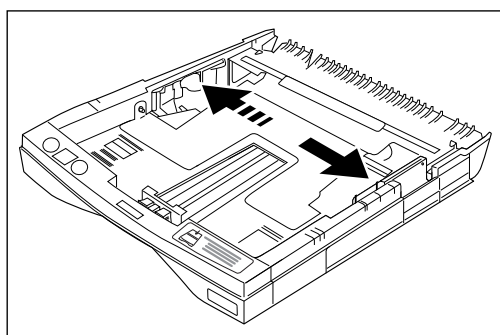
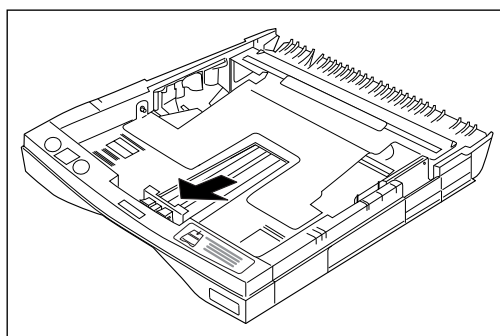


- 2 給紙カセットのふたを開けます。



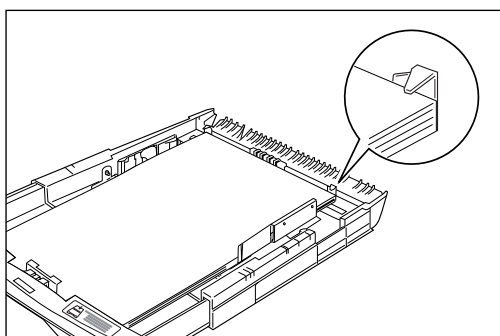
3 ガイド・クリップをずらしま

す。
縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら外側にずらしま



4 用紙をセットします。

用紙の四隅を揃え、印刷したい面を上にして、左右の爪の間に差し込むようにセットします。用紙が左右の爪の上にはならないように注意

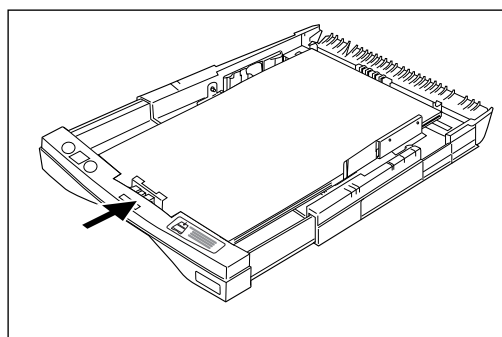
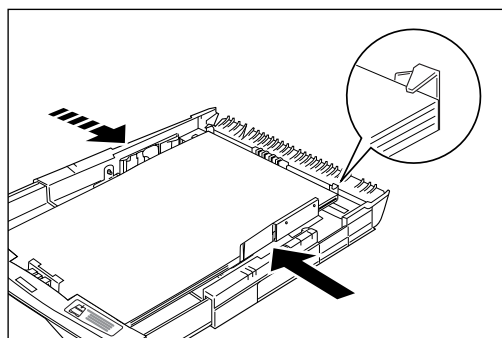


MEMO

- ・折り目やしわの入った用紙は使用しないでください。また特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- ・セットする用紙の量は、左右の爪を超えないようにします。
- ・残った用紙は、吸湿防止のため元の包装紙に包んで保管してください。

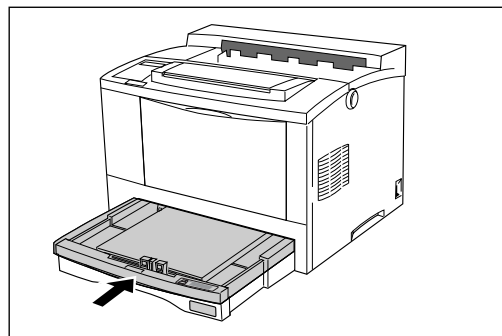
- 5 ガイド・クリップを合わせます。
- まず、横ガイド・クリップを用紙の横の幅に合わせます。用紙の端を整えてから、縦ガイド・クリップを用紙サイズ目盛りに合わせます。

- ・用紙の端は、横ガイド・クリップの爪の下に入れてください。
- ・縦ガイド・クリップのストッパーが、目盛りの穴にピッタリはまっていることを確認してください。
- ・A4サイズとレターサイズ用の紙サイズ目盛り位置が接近しています。ガイド・クリップを用紙サイズ目盛りに合わせる際には間違えないようご注意ください。



- 6 給紙カセットをプリンターにセットします。
- 給紙カセットのフタを閉め、奥までしっかり押し込みます。

- ・このとき、勢いよく押し込まないように気をつけてください。
- ・給紙カセットが確実にセットされていないと、紙詰まりの原因になります。



MEMO

給紙カセットのフタは必ず閉めてください。外気の影響で用紙の状態が変化し、紙詰まりの原因となります。

電源コードを接続し、電源を入れる

EPカートリッジと用紙のセットができたら、付属の電源コードをプリンターに接続し、電源を入れます。

MEMO

電源スイッチを入れてから約45秒後に印刷できる状態になります。なお、1日の印刷作業の終わりや長時間プリンターを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。



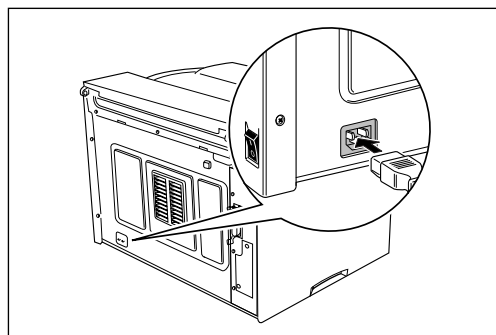
搬入や移動の直後に電源を入れる場合は、前面給紙トレイに用紙はセットしないでください。
用紙ジャムが発生する場合があります。

操作の手順

⚠ 注意

1 電源スイッチをOFF (○) にします。

2 電源コードのプラグをプリンター背面の電源コード差し込み口に差し込みます。



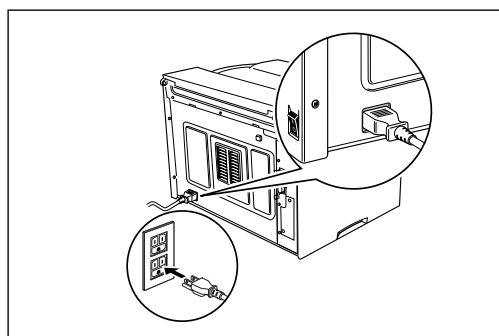
⚠ 危険

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときには、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

3 電源コードのもう一方のプラグを電源コンセントに差し込みます。

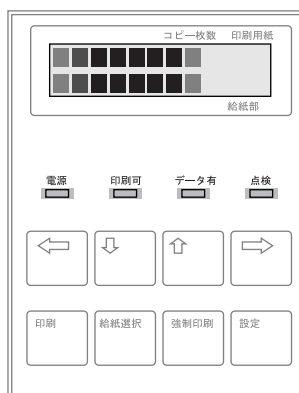


4 電源スイッチのON (I) 側を押し、電源を入れます。

ブザーが鳴り、操作パネルのすべてのランプが点灯します。

次に液晶表示部に右のように表示されて、初期診断テストが始まります。

初期診断テスト中は、XXの部分の値が大きくなっていきます。



初期診断テストが終了すると、液晶表示部に右のように表示され、印刷可ランプが点灯します。

これがデータを受信できる状態（印刷可能状態）です。



電源についてのご注意

- 電源は、AC 100V (50～60Hz) を使用してください。
- プリンターの最大消費電力 (720W) に見合った十分な大きさの電源容量を確保してください。
- 電源コンセントは、次の規格のものを使用してください。
ノンロック型コンセント (3極)
定植：125V15A 3極
(JIS C8303 に規定されているもの)



コンセントが接続される分電盤の電流容量は、15A以上必要です。

- 電源コンセントは、なるべくプリンター専用で使用してください。
同じコンセントから他の電気製品、特にエアー・コンディショナー、複写機、シュレッダーなどの電源を取らないでください。電氣的なノイズによってプリンターが誤動作することがあります。やむをえず同じコンセントから他の機器の電源を取る場合は、市販の高周波ノイズ・フィルタまたは専用トランスなどを設置してください。
- 電源電圧が不安定なときは、電圧調整器などを使用して、安定した電圧を確保してください。
- 延長コードの使用は、なるべく避けてください。
やむをえず延長コードを使用する場合は、上記の規格以上のコードをプリンター専用で使用してください。また、接続部分を誤ってはずすことのないよう、コードは通行の妨げにならないように設置してください。

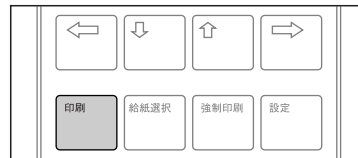
テスト印刷をして、電源を切る

印刷可能状態になったら、テスト印刷を行います。テスト印刷を行うことで、プリンターが正常に動作しているかどうかを確認できます。

テスト印刷の操作は、プリンターの操作パネルを使って行います。

操作の手順

スイッチを押し間違えた場合などで、表示が下記の手順と違ってしまったときには、印刷スイッチを押してください。次の表示になります。



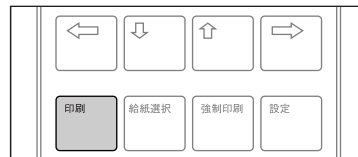
この表示になった場合には、手順2から操作をやり直してください。

インサツ カノウ

- 1 操作パネルの液晶表示部の表示が右の図（印刷可能状態）のようになっていることを確認します。

インサツ カノウ

- 2 印刷スイッチを押します。



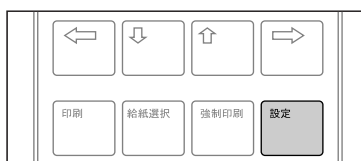
表示が右のようになります。

V X . X X

X . X Xは数値でバージョンを表します

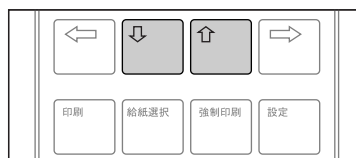
3 設定スイッチを押します。

表示が右のようになります。



メニューコウモク
セ”ンメントレイ サイズ”

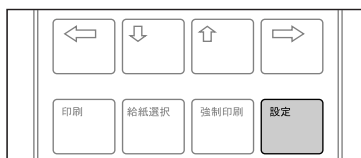
4 ↑スイッチまたは↓スイッチを押して、[テストインサツ] を表示します。



メニューコウモク
テストインサツ

5 設定スイッチを押します。

「シ” ッコウチュウ」と表示され、テスト印刷が始まります。



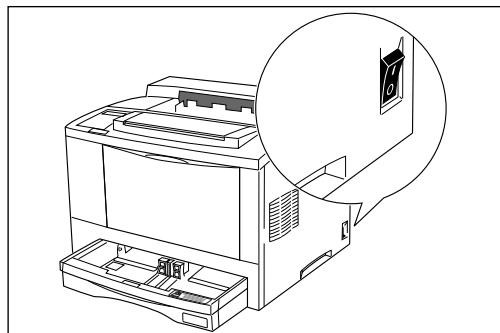
テストインサツ
シ” ッコウチュウ

- ・テスト印刷された用紙は、排紙トレイに印刷面が下向きになるように排出されます。テスト印刷の例は「応用操作編 テスト印刷」を参照してください。
- ・印刷の具合を見て、印刷濃度が濃すぎたり、薄すぎる場合には、印刷濃度調整ダイヤルで印刷濃度を調節します。

- 6 テスト印刷が終了すると、右の表示に戻ります。

メニューコウモク
テストインサツ

- 7 最後に電源を切ります。
印刷可ランプが消えていることを確認して、電源スイッチのOFF (○) 側を押し、電源を切ります。
すべてのランプが消灯します。



電源スイッチを切ると、プリンターのメモリーに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。

プリンターとシステム・ユニットを接続する

テスト印刷の結果がよければ、別売のプリンター・ケーブルで、プリンターとシステム・ユニット（プリンターが接続されるコンピューター、またはコンピューター上で印刷を行っているアプリケーション・ソフト）を接続します。

操作の手順

- 1 電源の OFF (○) を確認します。
電源スイッチが OFF になっていて、操作パネルのすべてのランプが消灯していることを確認します。

注意

- 2 プリンターおよびシステム・ユニットの電源コードをコンセントから取りはずしてください。
- 3 プリンターとシステム・ユニットを接続します。
(プリンターをシステム・ユニットに直結する場合)
プリンター・ケーブルの一方のコネクターをプリンター背面の標準パラレル・インターフェース・コネクターに、もう一方をシステム・ユニット背面のコネクターに接続します。
それぞれ、金具またはネジでしっかり固定してください。
- 4 プリンターおよびシステム・ユニットの電源コードをコンセントに接続します。

